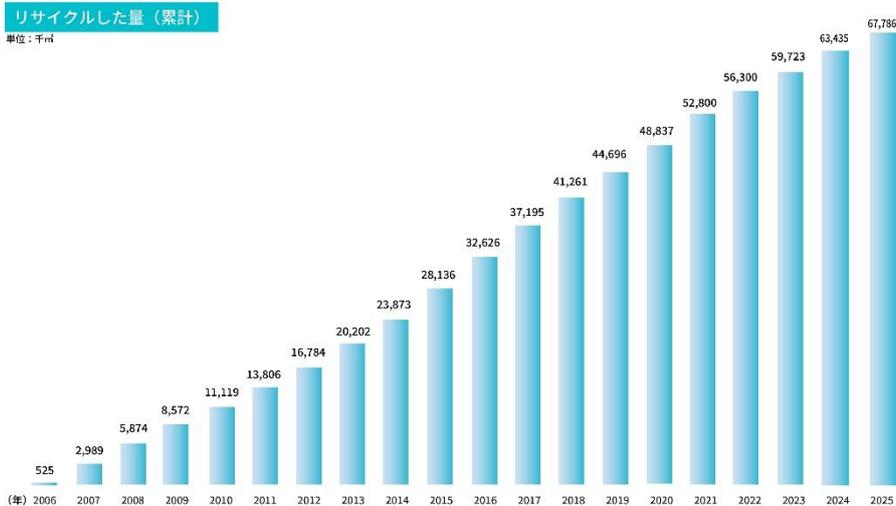


NEWS RELEASE

報道関係各位

2026年3月2日
株式会社リファインバースグループ**タイルカーペットの水平循環リサイクル、累計 6,700 万㎡を突破****- 東京ドーム約 1,400 個分に相当する再資源化量を達成 -**

株式会社リファインバースグループ（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：越智晶）は、タイルカーペットの水平循環リサイクルにおける 2025 年までの累計再資源化量が 6,778 万㎡となり、累計約 6,700 万㎡を突破したことをお知らせします。

タイルカーペットの水平循環リサイクルとは

オフィスや商業施設で使用されているタイルカーペットは、繊維層と樹脂層が一体化した複合素材であるため再利用が難しく、長年その多くが埋立処分されてきました。

リファインバースグループは、この課題に約 20 年前から取り組み、廃タイルカーペットを再びタイルカーペットへと循環させる再生素材「リファインパウダー」を開発し、水平循環リサイクル技術を確立しました。



近年は、社会全体でサステナビリティ経営や SDGs 施策が進む中、オフィス改装などから発生する廃棄物の環境負荷低減を求める声が高まり、タイルカーペットのリサイクル需要も増加しています。これらの取り組みの広がりにより、2025 年までの累計再資源化量は 6,778 万㎡（東京ドーム約 1,450 個分）に達しました。

現在、首都圏を中心に水平循環リサイクルの導入が進み、すでに約 50%のタイルカーペットがリサイクルされています（自社調べ）。

水平循環リサイクルの取り組み

廃棄タイルカーペットは、グループ会社である GMS（ジーエムエス）や産業廃棄物処理事業者が、解体・内装工事現場で発生したものを回収しています。回収されたタイルカーペットは、千葉県八千代市の「リファインバース千葉工場」に運び込まれ、再生素材「リファインパウダー」へとリサイクルされます。

この「リファインパウダー」は各タイルカーペットメーカーで原料として使用され、新しいリサイクルタイルカーペットへと再生されます。新品原料と比較して約 96%の CO₂削減効果があり、環境配慮型オフィスづくりに取り組む企業での採用が広がっています。



千葉工場



リファインパウダー

タイルカーペットの水平循環リサイクルや、オフィス等から発生する廃棄タイルカーペット回収については以下よりお問い合わせください。

タイルカーペトリサイクル LP : <https://r-inverse.com/ctr-lp/>

リファインバースグループについて

「誰にもない視点と技術で、未来へ富をつないでいく」

20 年以上前からサーキュラーエコノミーの実践に取り組み、さまざまな素材の再生・開発を進めてきました。オフィスや施設で大量に廃棄されるタイルカーペットを回収し、自社工場再生素材「リファインパウダー」へ加工することで、業界では難しかった水平循環型リサイクルを実現しています。また、廃漁網や廃車エアバッグを高品質なリサイクルナイロンペレット「REAMIDE（リアミド）」へ再生する事業を展開しています。さらに、鳥の羽根「フェザー」を原料とした新しいバイオ素材「ReFEZER（リフェザー）」や、自動車内装材を再生したアスファルト改質材「REOCA」、ゴムの再生素材「RENAMY」など、多様なリサイクル素材の開発にも取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、廃棄される素材に新たな価値を生み出し、ビジネスの力で循環型社会の実現をめざしています。

【報道関係のお問合せ】

株式会社リファインバースグループ 経営企画部

MAIL : pr@r-inverse.com TEL : 080-3568-7041(広報担当 : 西川)